サービスエリア、昔からの知合い、この1年お世話になったあなたに。**ブログもチェック**ください。

村田 英男の 気まぐれ年末状

◆賀状欠礼の方送付、無礼、ご容赦下さい。◆私も本年父、義母を亡くし喪中です。◆一昨年からこの葉書のブログアップはハイパーリンク付きです。

▼日記替わりのブログからチェック。▼FFの総会では私もハレルヤ・コーラス歌って合唱団のレベルを下げた。▼数年ぶりに講演を依頼され喜々として天橋立まで行った。▼一生に一度と思われる大震災。かつて昭和天皇が「あの音は何だね」と聞いた一力旅館そば踏切の警報機は三日鳴り続いた。四九バイパス入口道路は崩壊。浜通りから津波原発の避難客が殺到し、毛布一枚で広間に多数宿泊した。磐梯熱海はまだまし。厚いポリ袋に水を入れて市内の知人に配布。**山崎**酒店は棚から酒が落ち酒臭い。▼三月二六日重油、ガソリンを運ぶため本線に先駆け磐越西線一番列車開通。本線が開通するまで毎日二本タンク列車が通った。▼四月一日からお客様は震災復興建設業者と富岡町からの被災者の宿泊が始まった。業者に屋外に洗濯機を付けて頂いた。▼四月一六日父**喜男**死去、九四歳。葬儀までの三日間は眠るよう。開成山は満開の桜だった。葬儀中、髪は黒くした。▼被災者の為に知人の散髪ボランティア、口腔ケアのボランティアが来た。▼現金始め野菜、わかめ、靴下、パラグアイ大豆で作った豆腐など色んな物資が届いた。▼安積歴史博物館は土壁が崩れ落ち、OBボランティアを集め土砂を寄せ集めた。▼父を追って叔母**鈴木ふみ**死去。「こっちは良いぞ」と一番近い妹を呼んだ。▼七月から facebook 始めた。▼七月一日から被災入居家族の退出が始まった。九月で残家庭退去。マー君はこの間被災者**遠藤**さんに散歩して貰った。▼七月一三日友人妻、**和子**死去。鼻をすすりながら弔辞を読んだ。▼八月一八日義母**照子**死去。熱中症から脳梗塞で処置出来なかった。▼お客様減を補って小、中、高、大、時代の多くの友人が義理宿泊してくれた。感謝。▼三次補正予算で安積歴史博物館再建に92%と結構予算が付いた。しかし募金活動は免税措置後。▼安積高校混声合唱団本年も全国コンクールで金賞を得た。▼原発放射能での売上減を補う東電から補償金がなんとか年内に着金、一息ついた。▼父に死なれた母**志づ**は気持ちの整理がつき体力が回復してきた。同じく義母に先立たれた義父**健重**も淡々としている。▼年末の寒波襲来。**ミルキー**はママの、**ラム**は私の寝床で添え寝。

無責任編集発行〒963-1309 郡山市熱海町熱海四の三九　村田英男　mailto:deo@kirakuya.jp。